

焼き板看板



西川材の焼き板です。

板を焚き火の中で焦がして磨くと、独特の色合いと光沢が出てきます。絵や文字を書けば、素敵な看板の出来上がり！

対象	小学生以上	実施時期	通年
持ち物	軍手		

ねらい

- ・木の特性を知り、自分だけのオリジナルデザインを考えながら物を作る楽しさを味わう。
- ・生活の知恵の習得

実施の流れ

打ち合わせ・説明

- ◆開始 15 分前に、本所職員と団体代表者の打ち合わせを行います。
- ◆説明は本所職員が行います。

以降は、各団体が中心となり進行してください

準備

- ① 軍手をします。
- ② 板をひとり一枚ずつ配ります。
- ③ 新聞紙を広げておきます（炊事場実施の場合）。
- ④ たわしを用意します。

実施

- ① 火床に薪（又はせご板）を置き、火をおこします。
- ② 火の勢いが弱ったら、板を焼き始めます。
- ③ 火ばさみを使って、板をまんべんなく焦がします。
- ④ 焦がした板が冷めたら、平らな所に置きます。（石の上で行うと、板に傷がつきやすい）
- ⑤ たわしで焦げ目がなくなるまで木目にそってよくみがきます。（こげ茶色の生地がみえてくるまで）
※落としたりすすを吸い込まないように、風向きに気をつけましょう。
- ⑥ 新聞紙で、自然な光沢が出るまでよくみがきます。
- ⑦ 好きな絵を描きます。
- ⑧ ヒートンをつけます。
- ⑨ ヒートンに、紐を結びつけます。
- ⑩ ラメノリが乾くのに時間がかかります。（厚く塗るとさらに時間がかかります）

片付け

- ① 道具を片付けます。
- ② 使った場所の掃除をし、ゴミは所定の場所に捨てます。

まとめ

- ・ 出来上がった作品を見せ合い、形と絵の組み合わせなど、良さを見つけ合いましょう。
- ・ ふりかえり
- ・ 感想発表等

留意点

- ①火を使う活動です。火傷等十分注意しましょう。※火傷対策として、水をバケツに用意しておくといよい。
- ②作業するときは、必ず軍手を着用しましょう。
- ③焦げを出来る限り落としてから、布でみがくとよりきれいに仕上がります。
- ④飾りひもは、汗などで色落ちする場合があります。
- ⑤後片付けを、しっかりしましょう。